

## IV 第51回市政に関する世論調査の結果

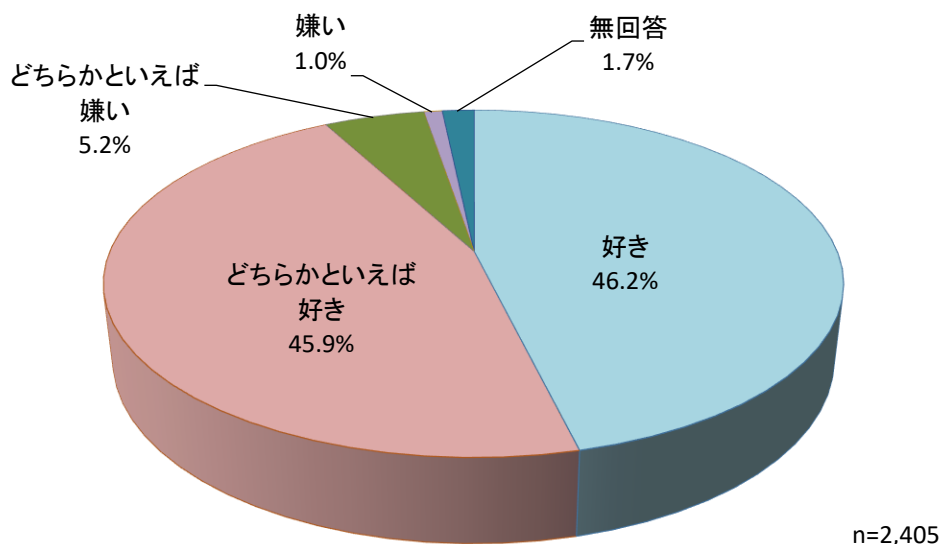
### 1. 宇都宮市に対する感じ方について

#### (1) 宇都宮市の好き・嫌い

◇ 「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた【好き（計）】が9割強

問1	宇都宮市を好きですか、それとも嫌いですか。	(○は1つ)
		n=2,405
1	好き	46.2%
2	どちらかといえば好き	45.9%
3	どちらかといえば嫌い	5.2%
4	嫌い	1.0%
	(無回答)	1.7%

<図IV-1-1>全体



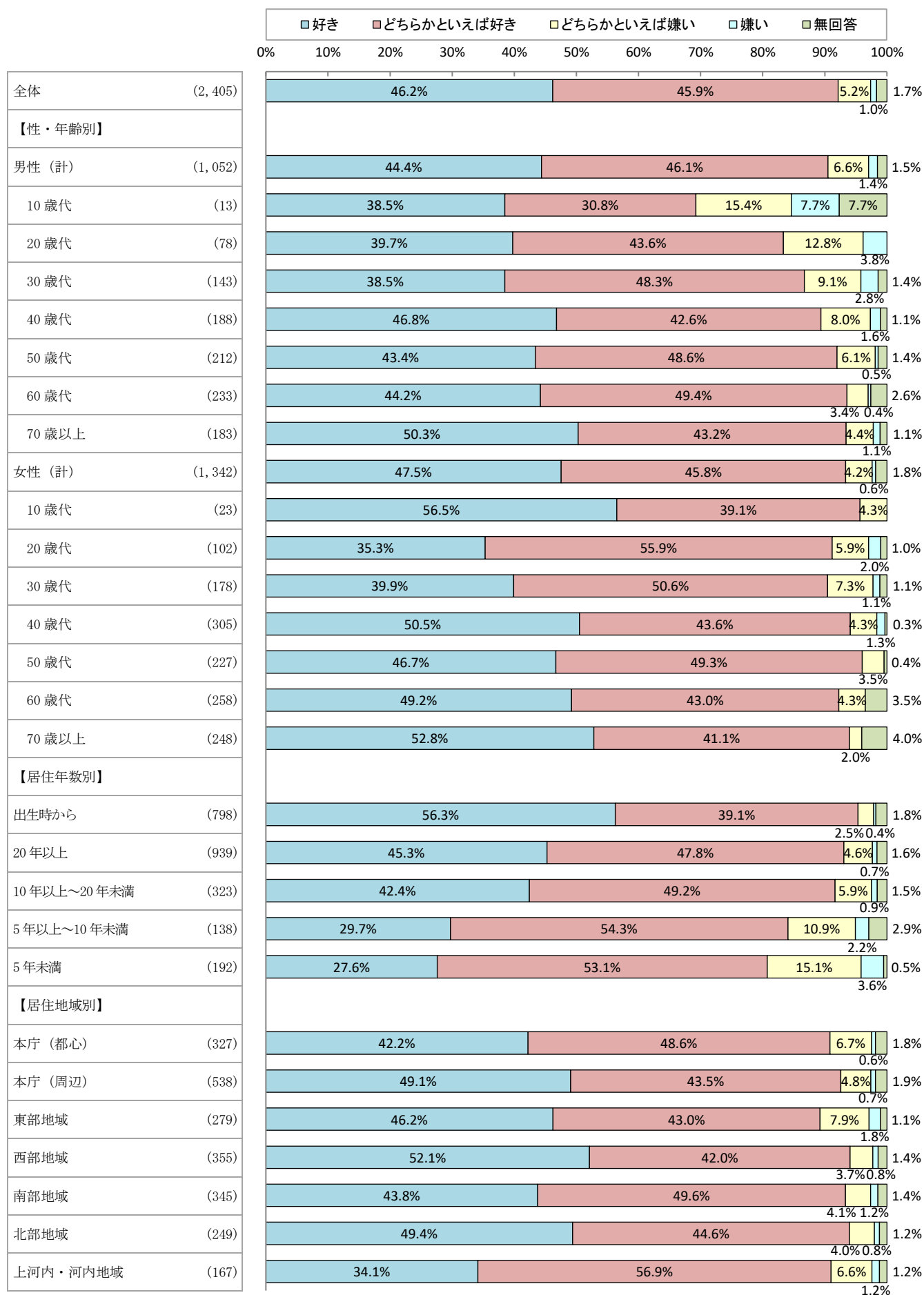
宇都宮市を好きか、嫌いか聞いたところ、「好き」が46.2%、「どちらかといえば好き」が45.9%で、これらを合わせた【好き（計）】が92.1%であった。一方、「どちらかといえば嫌い」が5.2%、「嫌い」が1.0%で、これらを合わせた【嫌い（計）】は6.2%と1割に満たない。(図IV-1-1)

性・年齢別で見ると、【好き（計）】は、<女性/50歳代>が96.0%で最も高く、次いで<女性/40歳代>が94.1%であった。【好き（計）】は、<男性/10歳代>以外の性別・年齢別で8割強を超えている。一方、【嫌い（計）】は、<男性/20歳代>が16.6%で最も高く、次いで<男性/30歳代>が11.9%であった。(図IV-1-2)

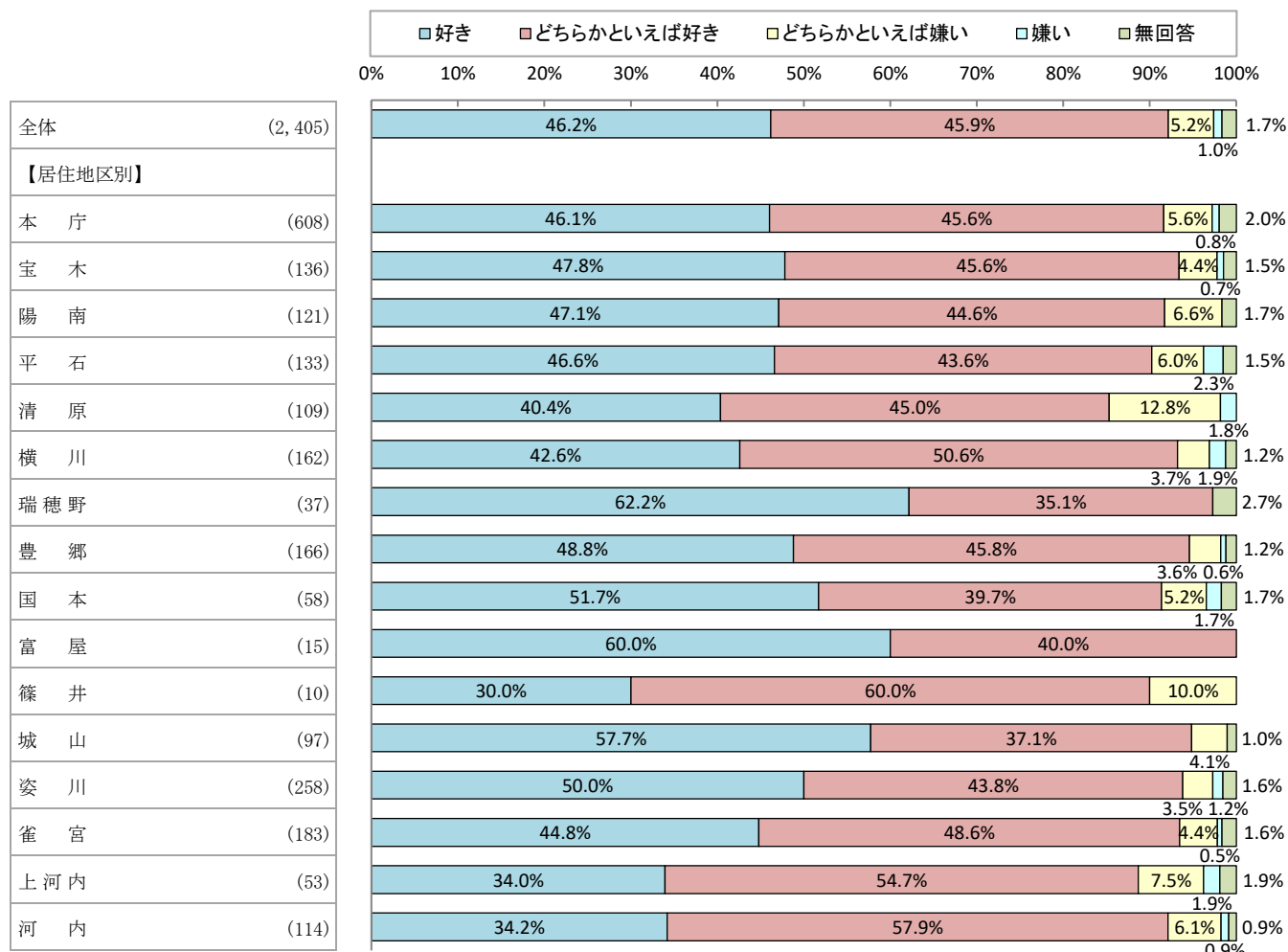
居住年数別で見ると、【好き（計）】は、<出生時から>が95.4%で最も高く、次いで<20年以上>が93.1%であった。一方、【嫌い（計）】は、<5年未満>が18.7%で最も高く、次いで<5年以上～10年未満>が13.0%であった。(図IV-1-2)

居住地域別で見ると、【好き（計）】は、<西部地域>が94.1%で最も高く、次いで<北部地域>が94.0%であった。一方、【嫌い（計）】は、<東部地域>が9.7%で最も高く、次いで<上河内・河内地域>が7.8%であった。(図IV-1-3)

<図IV-1-2>性・年齢別/居住年数別/居住地域別



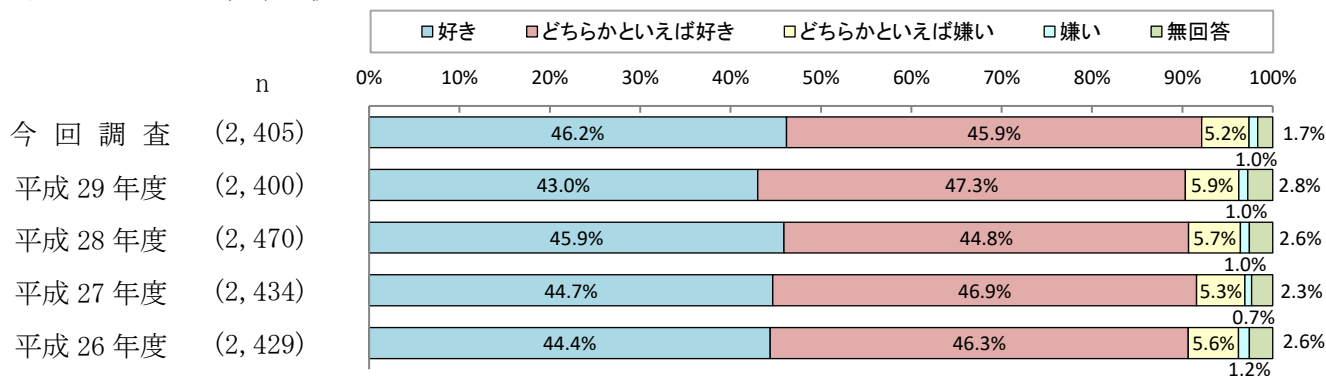
<図IV-1-3>居住地区別



【経年比較】

選択項目	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば嫌い	嫌い	無回答
平成30年度	46.2%	45.9%	5.2%	1.0%	1.7%
平成29年度	43.0%	47.3%	5.9%	1.0%	2.8%
平成28年度	45.9%	44.8%	5.7%	1.0%	2.6%
平成27年度	44.7%	46.9%	5.3%	0.7%	2.3%
平成26年度	44.4%	46.3%	5.6%	1.2%	2.6%

<図IV-1-4>経年比較



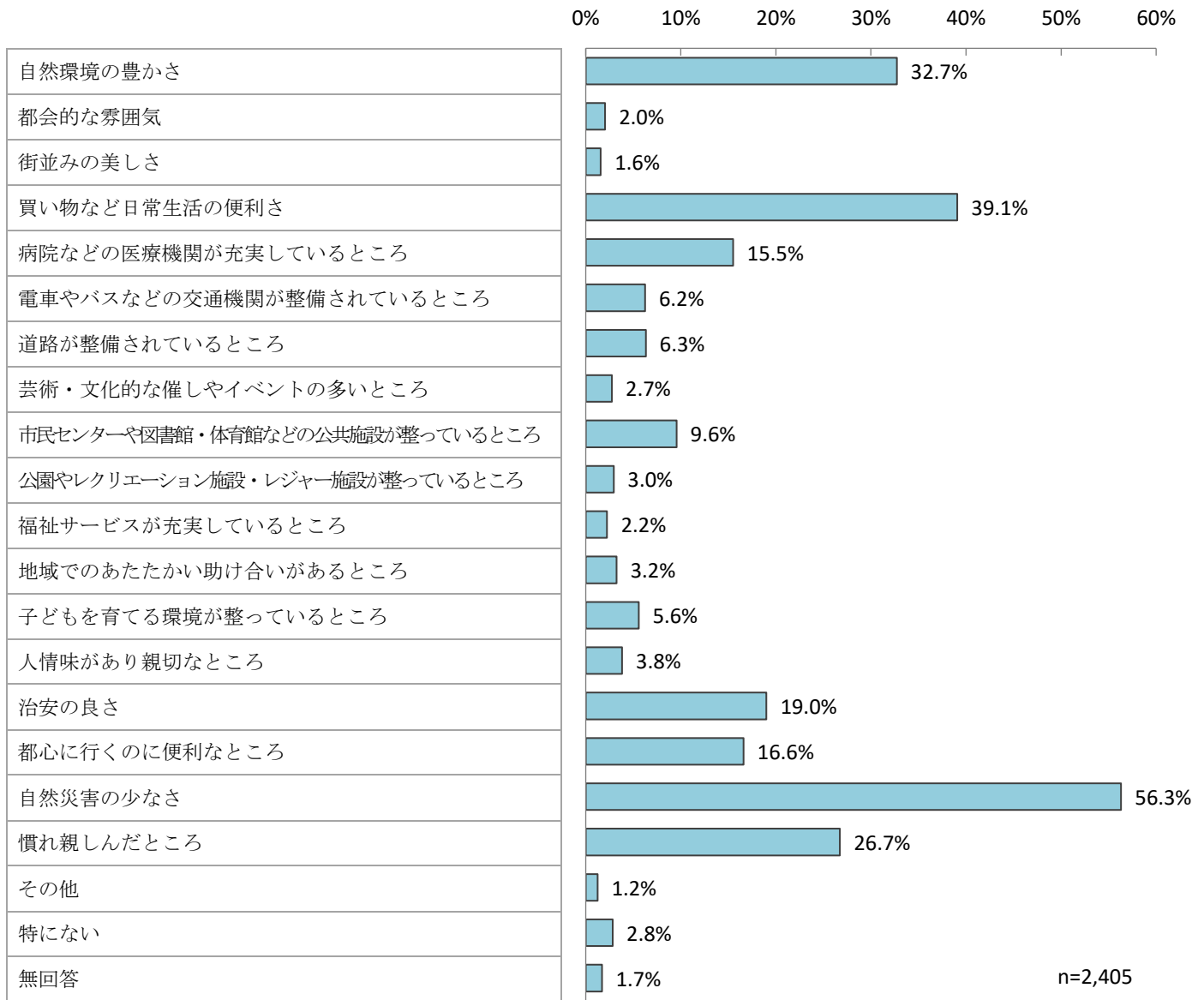
【好き(計)】及び【嫌い(計)】については、過去4年間と比較しても、特に大きな違いは見られない。(図IV-1-4)

## (2) 好きな理由

### ◇「自然災害の少なさ」が5割半ば

問2	宇都宮市の好きだと思ふところをあげてください。	(○は3つまで)
		n=2,405
1	自然環境の豊かさ	32.7%
2	都会的な雰囲気	2.0%
3	街並みの美しさ	1.6%
4	買い物など日常生活の便利さ	39.1%
5	病院などの医療機関が充実しているところ	15.5%
6	電車やバスなどの交通機関が整備されているところ	6.2%
7	道路が整備されているところ	6.3%
8	芸術・文化的な催しやイベントの多いところ	2.7%
9	市民センターや図書館・体育館などの公共施設が整っているところ	9.6%
10	公園やレクリエーション施設・レジャー施設が整っているところ	3.0%
11	福祉サービスが充実しているところ	2.2%
12	地域でのあたたかい助け合いがあるところ	3.2%
13	子どもを育てる環境が整っているところ	5.6%
14	人情味があり親切なところ	3.8%
15	治安の良さ	19.0%
16	都心に行くのに便利なところ	16.6%
17	自然災害の少なさ	56.3%
18	慣れ親しんだところ	26.7%
19	その他	1.2%
20	特にない	2.8%
	(無回答)	1.7%

<図IV-1-5>全体



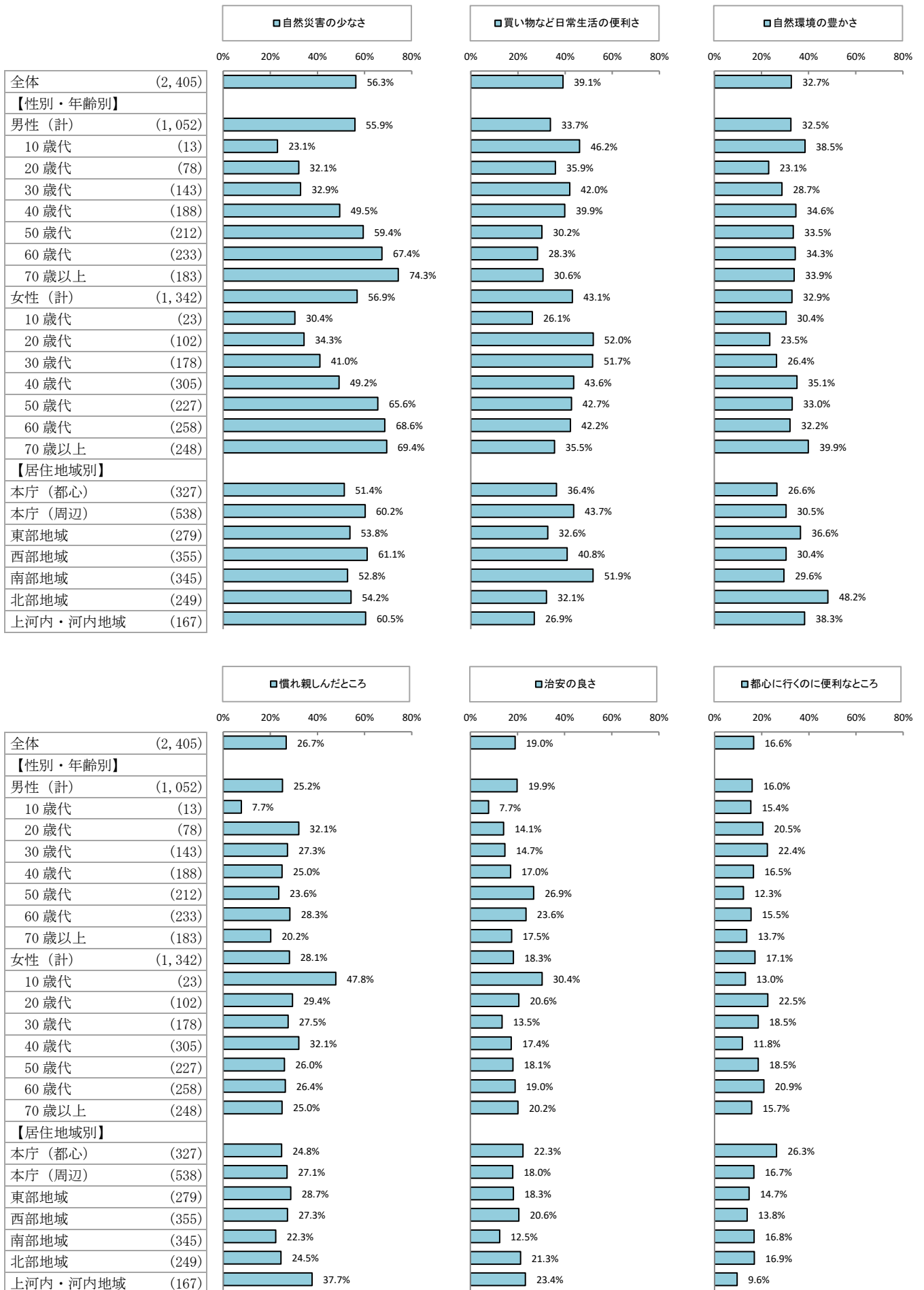
宇都宮市で好きだと思うところについて、1位が「自然災害の少なさ」で56.3%、2位「買い物など日常生活の便利さ」で39.1%、3位「自然環境の豊かさ」で32.7%、4位「慣れ親しんだところ」で26.7%、5位「治安の良さ」で19.0%、6位「都心に行くのに便利なところ」で16.6%という順であった。(図IV-1-5)

上位6項目について性別・年齢別でみると、「自然災害の少なさ」は<男性/70歳以上>が74.3%で最も高く、次いで<女性/70歳以上>が69.4%であった。「買い物など日常生活の便利さ」は<女性/20歳代>が52.0%で最も高かった。「自然環境の豊かさ」は<女性/70歳以上>が39.9%で最も高く、「慣れ親しんだところ」は<男性/20歳代>、<女性/40歳代>の32.1%、「治安の良さ」は<男性/50歳代>の26.9%、「都心に行くのに便利なところ」は<女性/20歳代>の22.5%が最も高かった。(図IV-1-6)

居住地域別でみると、「自然災害の少なさ」は各地域で約5割から約6割となっているが、<西部地域>の61.1%が最も高く、「買い物など日常生活の便利さ」は<南部地域>の51.9%、「自然環境の豊かさ」は<北部地域>の48.2%、「慣れ親しんだところ」は<上河内・河内地域>の37.7%、「治安の良さ」は<上河内・河内地域>の23.4%、「都心に行くのに便利なところ」は<本庁(都心)>の26.3%が最も高かった。(図IV-1-6)

その他の意見では、「大谷石の蔵がたくさんある風景」、「東京に行くのも観光地に行くのも便利」、「都会と田舎のバランスがよい」などがあった。

<図IV-1-6>性別・年齢別/居住地域別（上位6項目）

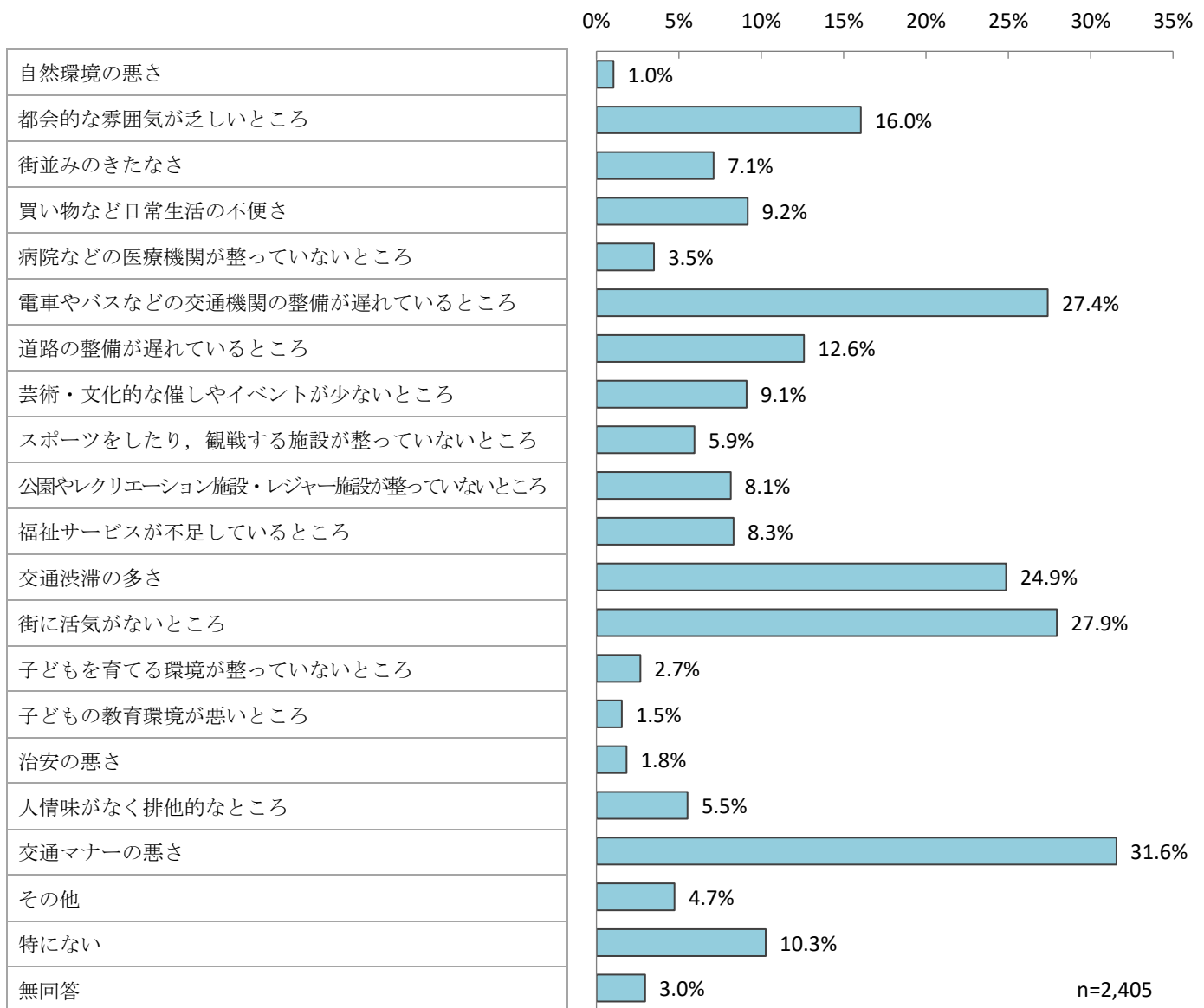


### (3) 嫌いな理由

◇ 「交通マナーの悪さ」の3割強を含め、交通関係に不満が多く集まる

問3	宇都宮市の嫌いだと思うところをあげてください。	(○は3つまで)
		n=2,405
1	自然環境の悪さ	1.0%
2	都会的な雰囲気が乏しいところ	16.0%
3	街並みのきたなさ	7.1%
4	買い物など日常生活の不便さ	9.2%
5	病院などの医療機関が整っていないところ	3.5%
6	電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ	27.4%
7	道路の整備が遅れているところ	12.6%
8	芸術・文化的な催しやイベントが少ないところ	9.1%
9	スポーツをしたり、観戦する施設が整っていないところ	5.9%
10	公園やレクリエーション施設、レジャー施設が整っていないところ	8.1%
11	福祉サービスが不足しているところ	8.3%
12	交通渋滞の多さ	24.9%
13	街に活気がないところ	27.9%
14	子どもを育てる環境が整っていないところ	2.7%
15	子どもの教育環境が悪いところ	1.5%
16	治安の悪さ	1.8%
17	人情味がなく排他的なところ	5.5%
18	交通マナーの悪さ	31.6%
19	その他	4.7%
20	特にない	10.3%
	(無回答)	3.0%

<図IV-1-7>全体



宇都宮市の嫌いだと思うところについては、1位が「交通マナーの悪さ」で31.6%、2位「街に活気がないところ」で27.9%、3位「電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ」で27.4%、4位「交通渋滞の多さ」で24.9%、5位「都会的な雰囲気が乏しいところ」で16.0%、6位「道路の整備が遅れているところ」で12.6%という順であった。(図IV-1-7)

上位6項目について性別・年齢別でみると、「交通マナーの悪さ」は<女性/20歳代>が41.2%で最も高く、次いで<男性/20歳代>が41.0%であった。「街に活気がないところ」は<男性/70歳以上>が39.9%で最も高く、「電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ」は<女性/40歳代>が35.4%で最も高かった。「交通渋滞の多さ」は<男性/30歳代>が45.5%で最も高かった。(図IV-1-8)

居住地域別でみると、「交通マナーの悪さ」は<南部地域>が35.4%で最も高かった。「街に活気がないところ」は<本庁(都心)>が31.5%で最も高く、「電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ」は<東部地域>が35.1%で最も高かった。「交通渋滞の多さ」は<東部地域>が30.5%で最も高かった。(図IV-1-8)

その他の意見では、「公共交通(バス、タクシー、LRTなど)に対する不満」、「マナーの悪さ」、「施設不足」、「税金が高い」、「行政に対する不満」などがあつた。



<図IV-1-8>性別・年齢別/居住地域別（上位6項目）

